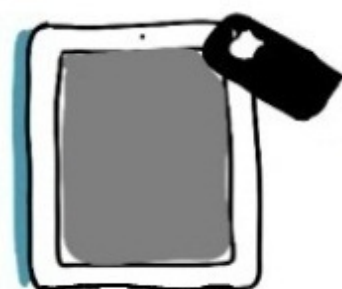


# iPadとiPhoneで 教師の仕事をつくる



canpycanpy 著

## はじめに

---

iPadを知人に初めて見せてもらった時の驚きは忘れられません。  
翌日、すぐに買いに行きました。

使ってみると、授業や校務のさまざまな場面で威力を発揮しました。

2ヶ月後にはiPhone4を買いました。  
携帯電話といえば通話とメールしか使えていなかったぼくのライフスタイルが変わりました。

iPad2がミラーリング機能を備えて発売されました。  
これも即日購入しました。  
ぼくの仕事になくてはならないツールとなりました。

本書では、そんな一年間の仕事の様子を書きつづったブログ「iPad2とiPhone4で教師の仕事をつくる」を書籍向けに再編集して加筆修正したものです。

スマートフォンやタブレット端末をお持ちの先生方に少しでもぼくの実践が参考になれば幸いです。

小学校教師 canpycanpy

## iPad 2 と同時にそろえたい周辺機器

---

iPad 2 を手に入れたら、以下の4つの機器も同時にそろえることをお勧めします。

### 1. デジタルAVケーブル (+HDMIケーブル)



初代iPadではできなかったミラーリング機能（iPad上の画面をテレビやプロジェクタに映し出す機能）が、デジタルAVケーブルをつなぐことで出来るようになります。

画面と同時に音もこれ1本で送ってテレビのスピーカーから出せます。

最近のパソコンやテレビには、HDMIという高品質の画像を送受信するためのコネクタがついています。そこにHDMIケーブルを差し込んで、iPadにつないだデジタルAVケーブルのHDMIコネクタにつなぐことで使えるようになります。

### 2. スマートカバー



風呂蓋のようなデザインで話題のカバーです。

カバーをかぶせるだけで、カバーについている磁石がiPad 2 に反応してスリープモードになります。

カバーをめくると自動的に起動します。

iPadを使用するときは、完全に取り外すのではなく、三角に折り曲げて「ホルダー」としても使えます。

裏地がマイクロファイバーなので、閉じただけでも画面の手あかがだいぶ落ちます。

もちろん、直接ふき取ることもできます。

### 3. カメラコネクションキット



iPhoneやSDカードのデータをiPadに読み込ませるときに使います。

動画や画像を大量に転送したいときに使えます。

iPhoneなどをつなぐUSB用とSDカード用の2つがセットになっています。

#### 4. タッチペン・スタイラスペン



指で操作できることがiPadの売りですが、文字を書こうとすると指先に隠れてうまく書くことができません。

そこで、先端に導電スポンジのついたペンがあると、普通の筆記用具で文字を書く感覚に近い感じで書けます。

アップル社の純正のものはありませんが、さまざまなメーカーが開発・販売しています。

## iPadとiPhoneをつなぐ

ぼくはiPhoneを「インプットのための道具」、iPadを「アウトプットのための道具」と考えています。

iPhoneは常に持ち歩いていて、思いついたらすぐに書き込んだり写真や動画を高品質で収めたりすることができます。

iPadは逆に、その画面の大きさやミラーリング機能をいかして、人に見せたり自分が確認したりするために活用するのに最適です。

この二つのツールをつなぐことで、そのよさを補い合うことができます。

画像や動画を送るのに手っ取り早いのは、カメラコネクションキットを使って直接つなぐことです。



すると、自動的にデータの送信が始まります。

iPhoneの中のデータがiPadに表示されますので、必要なデータを選択して送信します。



これで、iPhoneで写した動画や写真を、iPadの大きな画面で編集したり見せたりすることができます。

## iPadとiPhoneのカレンダーをシンクロさせる

iPadとiPhoneでは、どちらか一方に書き加えたスケジュールを、もう一方に自動的に反映させることができます。これを同期（シンクロ）と言います。

シンクロさせるにはいくつかの方法がありますが、応用範囲の広いGmailアカウントを使った方法を紹介します。

### 1. Gmailのアカウントを作成する

検索サイト [Google](#) で任意のユーザー名等を入力してアカウントを作成します。

#### Gmailを始めよう

姓:

名:

希望するユーザー名:  @gmail.com  
例: Ichiro.Tanaka , I.Tanaka

パスワードを作成:  [パスワードの安全度](#)  
8文字以上にしてください。

必要事項を入力すればアカウントが無料で作れます。

### 2. iPad & iPhoneの設定から、アカウントを追加する

iPadやiPhoneの **設定** > **メール／連絡先／カレンダー** > **アカウントを追加** から、Gmailを選択します。



ここで作成したアカウントのメールアドレスやパスワードを入力します。

名前と説明は任意でつけます。

名前 canpy

アドレス canpycanpy@gmail.com

パスワード .....

説明 canpycanpy@gmail.com

シンクロさせたい項目をオンにすれば完了です。



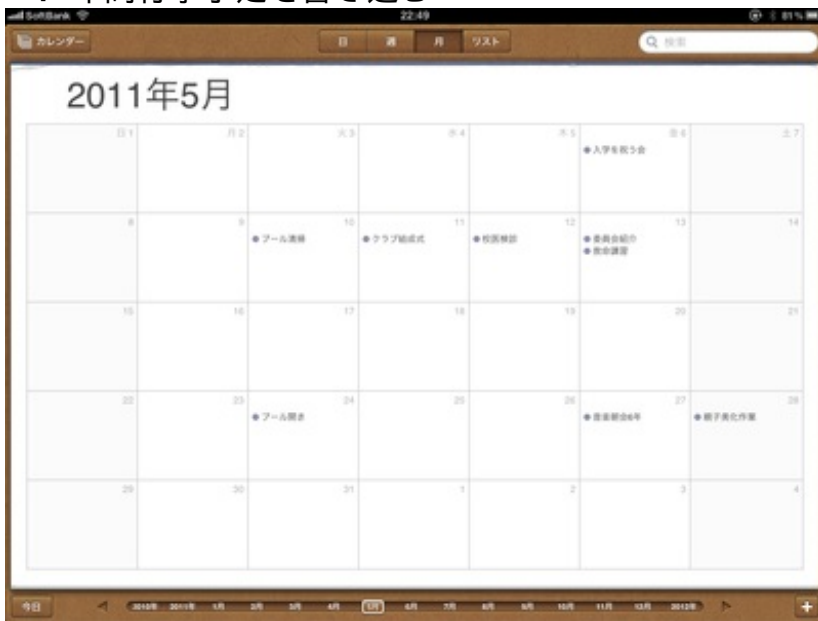
### 3. カレンダーに書き込むときに、**Google**アカウントを選択する

iPad&iPhoneに書き込む=Googleのカレンダーに書き込む、となります。



結果として、iPadで見てもiPhoneで見てもパソコンで見ても、同じ内容を確認することになります。

### 4. 年間行事予定を書き込む



同期が完了したら、パソコンでGoogleにログインし、カレンダーに年間行事を入力していきます。すると、iPhoneやiPadを立ち上げるたびに同期が行われ、反映されます。

逆にiPhoneかiPadで入力し、「カレンダー」の欄でグーグルアカウントを選択しても、同じようにGoogle経由で同期し、反映されます。

このシンクロ機能はカレンダーだけでなく、メールやメモ帳などのアプリでも使えます。



## iPadのホーム画面を構成する

必要なアプリや使えそうなアプリをダウンロードしたら、ホーム画面を組み立てます。

iPadだと上段20個、下段6個のアイコンを置くことができますが、26個パンパンに配置すると、「模様替え」をするときに動かしにくくなりますので、スペースを設けておきます。

2011年夏のぼくのiPad2のホーム画面は下記の通りです。



### ①マップ ②ビデオ ③YouTube ④AppStore ⑤カメラ ⑥設定

標準アプリです。

その他の標準アプリは使用頻度が低いので2画面以降に移動しました。

### ⑦Evernote

文書、PDF、写真、WEBのスクラップ、音声などさまざまな情報を管理するアプリです。

iPhone&PCともシンクロさせています。

### ⑧Toodledo

やることリストのアプリです。

iPhoneとシンクロしています。

### ⑨勤務地の天気

Yahoo天気の勤務地のサイトです。

天気予報アプリはいろいろありますが、こちらの方がピンポイントなので置いています。

### ⑩Google

通常の検索のほか、声による音声検索や画像検索などで使っています。

### ⑪i文庫HD

PDFの書類や電子書籍を保管したり見たりします。

### ⑫Adobeldeas

画像をトレースして絵を描いたりします。

### ⑬ノートPAD

PDFファイルに指やタッチペンで書き込むことができます。



#### ⑭作成

表作成用のNumbers、プレゼン用のKeynote、動画編集用のiMovieなどを入れています。

#### ⑮便利ツール

計算機、タイマー、ボイスレコーダーなどのアプリを入れています。

#### ⑯ついつぶる

Twitterのアプリです。

下段は購入したときのままです。

# iPadでよくあるトラブル

ぼくがiPadを使っていて見舞われたトラブルとその対処法を3つ紹介します。

## 1. iPadが教室のテレビに映らない

### (1) アナログケーブルの場合は「テレビ信号」をチェックしよう

初代iPadでは、コンポジットケーブルを使ってテレビに音と画像を出力していました。

実はiPad 2が発売される少し前から、ぼくの初代iPadの画面がテレビに出力されなくなっていました。

正確に言うと、音は出るけど画像がはっきりと映らない状態でした。

チューニングが少しずれているアナログテレビのような感じです。

同じケーブルを使っていても、iPhoneではちゃんと音も画像も出ていたのでケーブルの問題ではありません。

原因は「テレビ信号の設定」にありました。

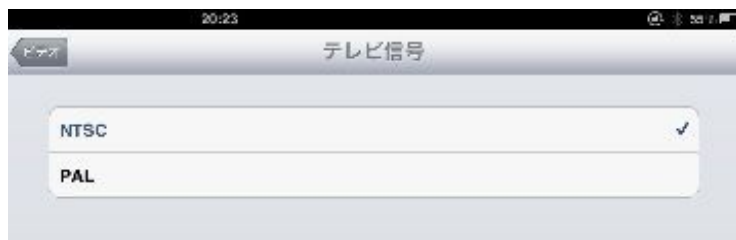
設定画面のビデオを見ると、テレビ信号を選択するところがあります。



テレビ信号の種類はNTSCとPALの2種類があります。

iPadの公式ユーザーガイドにはこう書かれています。

「ビデオ」>「テレビ信号」を選択して、「NTSC」または「PAL」を選びます。NTSCとPALはテレビ放送の規格であり、地域によってどちらか一方だけが使われています。北米・中米の多くの国と日本、韓国、台湾などでは、NTSCを選択すると、多くの場合作動します。それ以外の地域ではPALを選択してください。不明な場合は、接続するテレビまたはプロジェクターの説明書を参照してください。



ぼくの初代iPadは、この設定がいつのまにかPALになっていました。

NTSCに直すと久しぶりにきれいな画面が表示されました。

試しにiPad 2の設定をPALにしたら、やっぱり音だけしかでませんでした。

iPhoneの場合は、iPodの中にこの設定があります。



ちなみに、デジタルAVケーブルを使う場合はテレビ信号に関係なく表示されます。

## (2) デジタルAVケーブルの場合は10数えよう

iPad2で可能になったミラーリングですが、接続してから表示されるまでに時間がかかります。

ぼくの教室のテレビ (VIELLA THL37G2) では、10秒かかります。

しかも、接続してから3秒後と7秒後くらいに2度も「信号がありません」と表示されます。

一度ならともかく立て続けに二度もサインが出ると、せっかちなぼくはケーブルを抜き差してしまいます。

それでもまた3秒後と7秒後くらいに立て続けに「信号がありません」と表示されるので、授業中パニックになりました。

iPadのケーブルは普通のパソコンのケーブルと違って非常に抜けやすいです。

抜けやすい分、ケーブルを引っ掛けても本体は動かないというメリットもあります。

授業中に抜けても、あわてずにつないで、ゆっくりと心の中で10秒数えてください。

## 2. 使用中にアプリが突然落ちる

初代iPadでテレビに出力してプレゼンをしていると、突然Keynoteが終了してしまうことがありました。

原因はメモリの不足です。

複雑なアニメーションやトランジションが出てくると、Keynote自体の処理とテレビ出力のための処理でメモリがいっぱいになるのだと思います。

iPad2になって、メモリが256MBから512MBになってからは少なくなりましたが、初代iPadのときはよく起こりました。

対処法はホームボタンをトントンと二度押しして、マルチタスクで作動しているアプリを消すことです。



### 3. 画面が消えて無反応になる

バッテリーは十分残っていたはずなのに、iPadの電源が消えて、ディスプレイが反応しなくなったことがありました。

。

スリープボタンを長押しして再起動させようとしても無反応。本格的に壊れたと思いました。

iPhoneで検索したらアップルの公式サイトに解決方法がありました。

*iPadの電源をいったん切り、再び電源を入れます。iPad上部にあるスリープ/スリープ解除ボタンを数秒間、赤いスライダが表示されるまで押し続けます。次に、スライダをスライドします。次に、Appleロゴが表示されるまでスリープ/スリープ解除ボタンを押し続けます。iPadをリセットします。Appleロゴが表示されるまでスリープ/スリープ解除ボタンとホームボタンを10秒以上同時に押し続けます。*

「10秒以上同時に押し続け」ることで、再起動します。

# iPhoneで書類をスキャンする

---

新年度がスタートすると同時に、さまざまな資料が紙で配布されます。

このうち、個人情報にあたらな「清掃分担表」「入学式計画」などをiPhoneでスキャンして取り込みました。

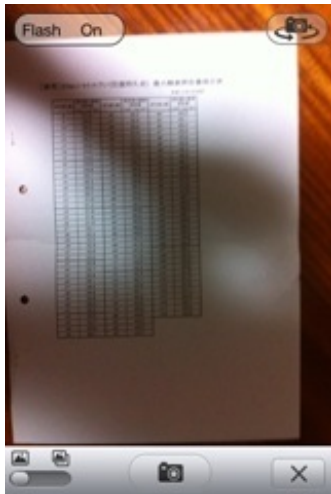
スキャンするためには、専用のアプリが必要です。

ぼくが使っているのは、CamScanner+というアプリです。

手順は次の通りです。

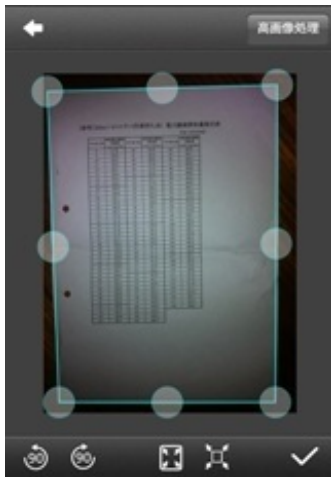
## 1. 撮影をする

アプリを起動してカメラモードで撮影します。



## 2. トリミングをする

資料のふちに枠を合わせます。



## 3. 名前をつけて保存する

後で検索しやすいように名前をつけます。



紙の資料にも、手軽に書き込めるなどの利点がありますが、探すのに時間がかかったり、なくしたりすることもしばしばあります。

iPhoneは常に携帯していますので、どこかに置き忘れることもほとんどありません。

もしiPhoneを見失っても、電話をかけて着信音を鳴らしたり、「iPhoneを探す」などのアプリを使ってで見つけることができます。



[CamScanner+](#)

[カテゴリ：仕事効率化](#)



## Evernoteで整理する

---

iPhoneでスキャンして取り込んだ資料をiPadや自宅のパソコンでも見られるようにします。  
そのために、Evernoteというアプリを使います。

CamScanner+で「PDFをアップロード」を選択すると、アップロードの方式を聞いてきますので、Evernoteを選択します。



するとEvernote上のサーバーにファイルが送信されます。



iPadやパソコンにEvernoteがインストールされていれば、サーバーに保存してある自分のファイルを見ることができます。



時間があるときに、ノートブック名やタグをつけて整理するといいでしょ。

2011年7月現在、ぼくはこんな感じでノートブックを作っています。



## inbox

デフォルトのノートブックです。

設定をしなければここにすべて入ります。

時間があるときにノートブック名をつけなおして整理します。

## 2011年度

今年限定で使う授業や校務での資料です。

04月～07月と月ごとに整理しています。

## 公的文書

学習指導要領やその解説書、文部科学省や教育委員会からの通達文書などです。

PDFファイルで公開しているものをダウンロードしています。

## ブログ

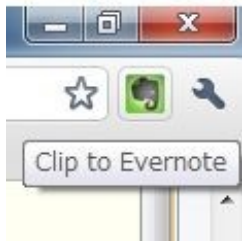
ブログの下書きやブログに載せる画像などを入れています。

Livedoorブログでは、Evernoteから画像や記事を挿入できる機能があります。

## 記事

ウェブ上の記事を入れています。

エクステンションを入れればPCからクリックひとつで保存できます。



画像のブラウザはGoogleクロムです。

このゾウさんマークをクリックすれば、表示されているページが保存されます。

## 名刺

いただいた名刺をiPhoneで撮影して入れています。



[Evernote](#)

[カテゴリ：仕事効率化](#)

## コピー機で書類をスキャンする

---

最近のコピー機はスキャナの機能がついているものが多いです。

勤務校のコピー機もこの機能がついています。

枚数の多い資料はコピー機の自動紙送りトレイに載せてスキャンしています。

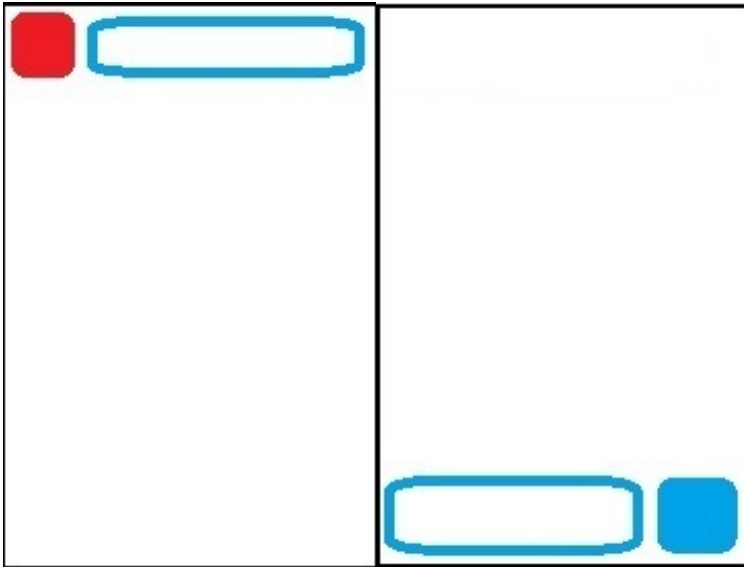
PDFファイルに変換されたものをiPadやiPhoneに入れて利用することができます。

市販テストの解答をスキャンしてみました。

これまでは全教科の解答に穴をあけてひもで綴って持ち歩いていました。

指導の足りない部分がテストに出ていたりするといけないので、ぼくはときどき解答を見返して授業を考えることがあります。

市販ノートをスキャンして思ったのは、どの出版社のテストも表と裏の印刷方向が違うことです。



こんな感じです。

子供がテストをするとき、この方が表の最後の問題を解いてめくったときにスムーズに裏の問題へ取り掛かれるからだと思います。

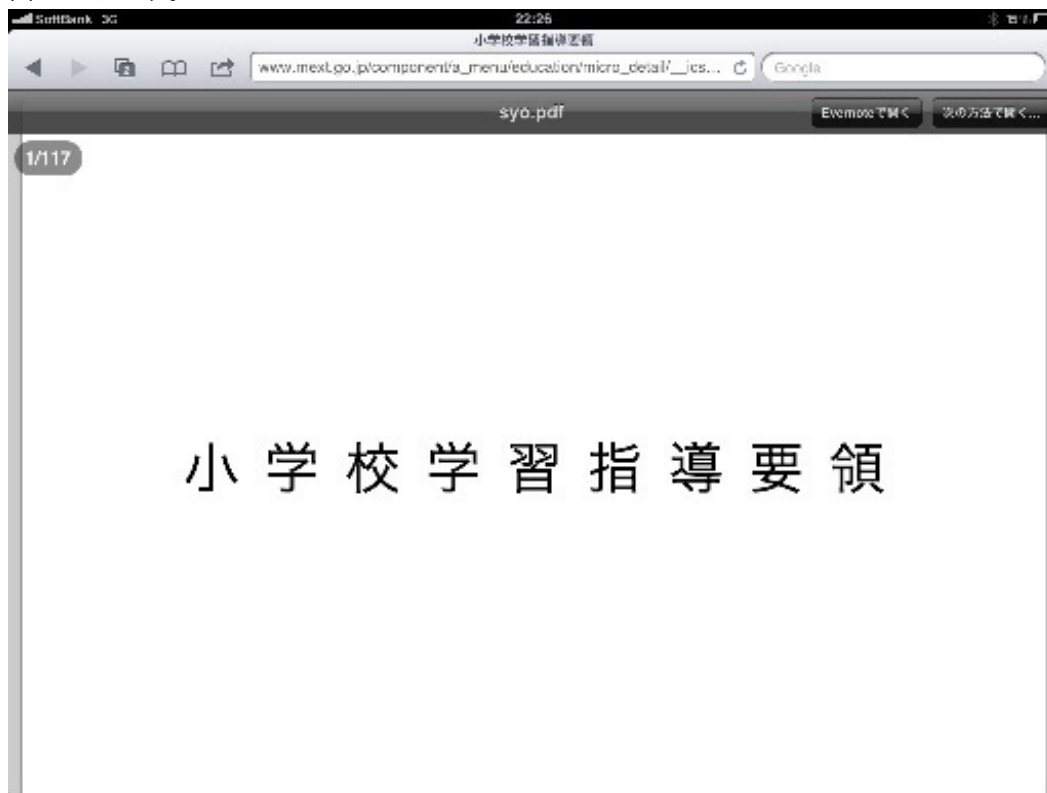
普通のパソコンだと、垂直回転させないと見えづらいのですが、iPadだと本体をぐるっと回転させればいいので問題ありません。

## ネット上のPDFファイルを収集する

仕事で使う資料のPDFファイルを、ネットから取り込んでいく手順を紹介します。

まず、ネット上で必要なPDFファイルを探してiPadかiPhoneで開きます。

例えば文部科学省のサイトで小学校学習指導要領のページにアクセスし、PDF版をクリックすると、下記のような画面になります。



このままでも読めるのですが、画面をタッチすると「Evernoteで開く」「次の方法で開く」の表示が出ます。

ここで「Evernoteで開く」を選択すると、Evernoteが起動してノートとして収まります。



題名をつけ、適切なノートブックを選択すれば、後で探しやすくなります。

こんな感じでぼくは以下の文書を取り込みました。

紙にしたたら、保管するのにどれくらいのスペースが必要になるのでしょうか。

### 1. 文部科学省や教育委員会の公的文書

学習指導要領やその解説書、指導要録に関する資料やさまざまな法律、通達文書などです。

都道府県や市町村の教育委員会から出されている教育施策などもあります。

### 2. 教科書会社の資料

勤務地が採択している教科書会社の指導計画例や年間計画、評価規準例なども入れています。

教科書や指導書のPDFファイルも販売してもらえればありがたいのですが。

### 3. 学習指導案

”指導案 (必要な単元名)”」で検索すれば、かなりの数のPDF化された指導案がヒットします。

日本中の先生方が書かれた指導案を数分で何本も取り込むことが可能です。

## 板書を撮影して残す

授業で書き込んだ板書を保存したいと思うときがあります。

6年生の国語、「学級討論会をしよう」の授業です。

あるテーマに対して、肯定・否定の意見を出させた後、それらに対する反論を書かせて発表させました。

発表されたことを板書していったところで1時間の授業終了でした。

続きを翌日の次の時間にしたかったので、iPhoneのEvernoteにあるスナップショットで黒板をパチリ。

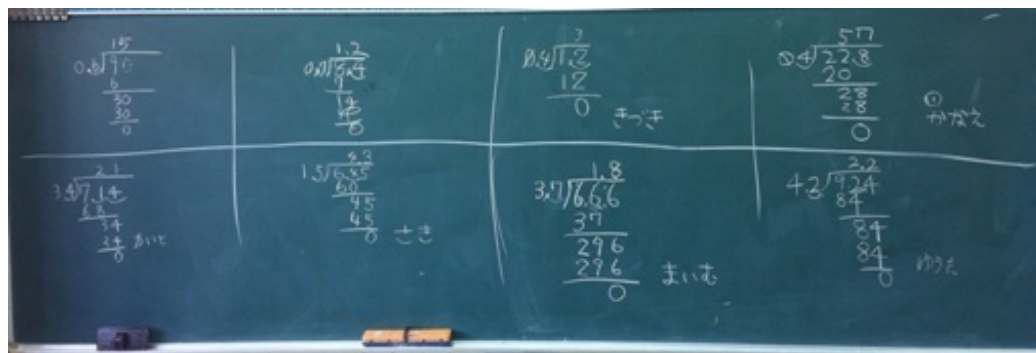
iPad2をテレビにつないで、前の授業の板書を確認しながら続きを行うことができます。

もちろん、毎日のすべての授業の板書を保存することも可能です。

学校行事の係を決めたり、修学旅行などのグループ分けをするときにも黒板を使うことがあります。

全員の係やグループが決まって黒板に名前が書き込まれたら、これもiPhoneで撮影しておきます。

そして時間があるときに写真を見ながら名簿を作成します。





## 児童の作品を保存する

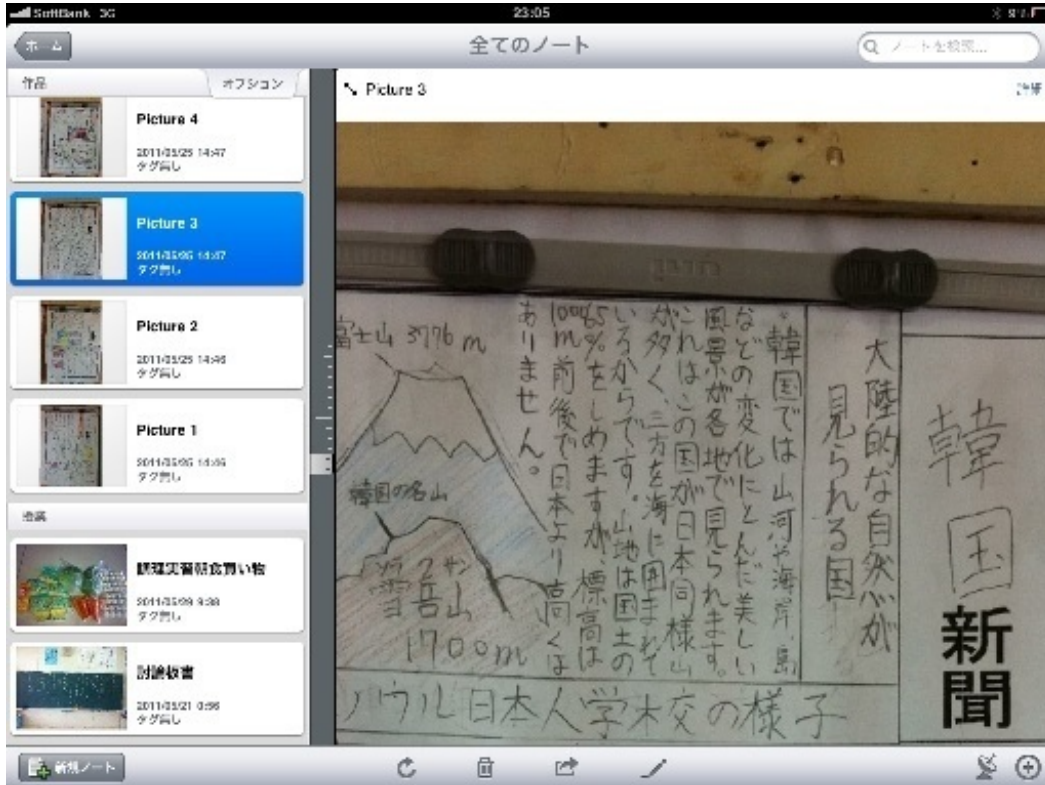
図工の作品や作文、ノート、新聞など、児童の作品を画像として保存するのにも、iPad&iPhoneは手軽に行うことができます。

A3サイズ以下の作品はコピー機でスキャンしてPDFファイルにします。

壁新聞や工作などの作品はiPhoneで撮影をして、Evernoteなどに入れます。

画用紙に描かれた作品は一か所に重ねておき、撮影しながらめくっていけばいいです。

30枚ほどの作品でも2分くらいですみます。



## 授業参観でフォトフレームにする

iPadはその画面の大きさや液晶の美しさから、フォトフレームとして活用するのに非常に向いています。フォトフレームとして使用する方法は2通りあります。

### 1. ピクチャフレームモード

まず、映し出したい写真をパソコンで一つのフォルダに整理してiPadに同期します。

次にiPadでももろの設定をします。



トランジションは「ディゾルブ」と「折り紙」の二種類があります。

1画面に1枚ならディゾルブ、1画面に大小複数の写真を出すなら折り紙を選択します。

「顔を拡大表示」は「オン」にすると、一人で写っている写真で顔がズームアップされます。

シャッフルは「オン」にすると、選択したアルバム（フォルダ）の中からランダムに表示されますので、行事や授業ごとに出したいのであれば「オフ」を選択します。

最後に「アルバム」か「イベント」かの選択があります。ぼくは授業参観用のアルバム（フォルダ）をつくることが多いので、「アルバム」を選択しています。

そして、映し出したいアルバムにチェックを入れます。

設定がすんだら、ロック画面から右下のひまわりをタップすればピクチャフレームの始まりです。



ただし、画面にふれられると一時的にロック画面になりますのでご注意ください。

### 2. スライドショー

スライドショーは、写真アプリから始めることができます。BGMも入れられるのが特徴です。

ですが、授業参観中に音を出すのもよくないのでぼくはBGMをオフにしています。



トランジション（画像が切り替わる時の効果）は5種類ありますが、動きが少なくて目のつかれない「ディゾルブ」にすることが多いです。

「キューブ」「波紋」「ワイプ」は、少ない画像をゆっくり見せる分にはいいかと思います。

ノートパソコンでも同じようなことはできますが、iPadの方が移動も設置も簡単です。

## 学年会でiPadを囲む

---

iPadは教室で多くの子に動画を見せるには小さいですが、少人数で囲んで見るには最適の機器です。

学年会で運動会や学芸会の種目を決めるときは、iPadでYouTubeなどの動画サイトを見て参考にしたりします。

ダンスの振り付けなども、多くアップロードされています。

これが、会議室のテーブルで気軽にできるのがいいです。

検索すると、同じ演目でもいろいろな種類の踊り方や演技方があるんだなあということがよくわかります。

練習期間に入ったら、iPhoneで撮影した動画をiPadに転送して演技の確認をすることもできます。

巻き戻しも頭出しも指先でコントロールできるので、ビデオデッキやDVDプレイヤーより操作しやすいです。

子供が帰った後の静かな学校で聞くにはiPad単体の音量でも十分です。

SoftBank 22:29 検索 運動会 小学校 ダンス

 <p>64年の運動会 ダンス 07.54 再生回数:12,202回 @17dots</p>	 <p>等の運動会【ダンス・ダンスカン】 07.51 再生回数:8,259回 @kajayan221</p>	 <p>運動会・中学校 07.54 再生回数:1,824回 @ooyodotaru</p>	 <p>運動会 08.31 再生回数:1,280回 @dankuroal00</p>
 <p>リョウノスケ 小学校運動会 踊 トロップルメーガー「戦国」エ... 07.27 再生回数:23,874回 @YajSakiko</p>	 <p>3年生発表 龍野西小学校運動会 08.08 再生回数:2,729回 @yoshizaban</p>	 <p>64年6月の運動会 マラソンとダンス 09.14 再生回数:4,440回 @17dots</p>	 <p>2011年4月31日 美しき行進 全校ダンス 松原小学校 運動会 08.14 再生回数:201回 @KODAMETA</p>
 <p>【5年生】小学校の運動会「GelGel カンファ」 04.31 再生回数:2,592回 @rom000000</p>	 <p>豊前小運動会 特別発表 6年生ダンス 08.02 再生回数:9,409回 @yosaburookama</p>	 <p>大塚小学校 運動会 ナンチンマ ーチに ハジける エキスル 09.56 再生回数:1,900回 @nao0adest14yukitan</p>	 <p>2011年4月31日 美しき行進 全校ダンス 松原小学校 運動会 07.28 再生回数:427回 @KODAMETA</p>

ホーム 検索 投稿 通知 設定

## iPadいっぱい拡大して見せる

iPadの画面は9.7インチあります。ちょうど顔くらいの大きさです。

テレビやプロジェクタにつながなくても教室で見せられる、ギリギリのサイズだと思います。

この画面の大きさをいかして、iPadを直接資料を提示するための道具として使うこともできます。

教室で見せるために使用するとき注意することは、明るさを最大にすることです。

### 1. やまなし

6年生の国語、宮沢賢治の「やまなし」の授業で、やまなしという果物がどんなものか、私も子供もピンとこなかったので、iPadでネットから画像を探しておき、授業の途中でピンチして実物大に拡大したやまなしを見せました。その後は教卓に立てて置いたまま、授業を進めました。

見せたい物のサイズがiPadに収まるのなら、実物大にして見せると感覚がつかめます。

### 2. 弁当

家庭科の授業で、お弁当作りをしました。

子供全員のお弁当を一人ずつ撮影してiPadに映し出しました。



iPadは大きめの弁当箱くらいのサイズで、形も弁当箱のような長方形です。

ですから、iPadでみる弁当の画像はなかなかリアルです。

画面に光沢があるので、きれいでおいしそうに見えます。

### 3. 国旗

日本とつながりの深い国々について学習する社会の授業で、各国の国旗をiPadで見せました。

iPadは運動会の万国旗のサイズに近いので、国旗を見せるのにもちょうどいいサイズです。

Wikipediaで国旗を探せば、その成り立ちまでわかるので一石二鳥です。



アメリカ合衆国の国旗

「星条旗」とも呼ばれる。

独立当時13の州（入植地）だったことと、現在50州であることから、13の横縞と50の星でできている。



#### 韓国の国旗

「太極旗」とも呼ばれる。

中央の円は陰陽を表し、四隅の黒い線は天・地・月・日を表す。



#### 中国の国旗

「五星紅旗」とも呼ばれる。

大きな星は中国共産党を、小さな4つの星は労働者・農民・小資産階級・愛国的資本家を表す。



#### ブラジルの国旗

「アウリベルジ」と呼ばれる。

緑は森林を、黄色は金と鉱物資源を象徴しているといわれている。

中央にある星はおおぐま座やさそり座、スピカ、南十字星など星座や星を表している。

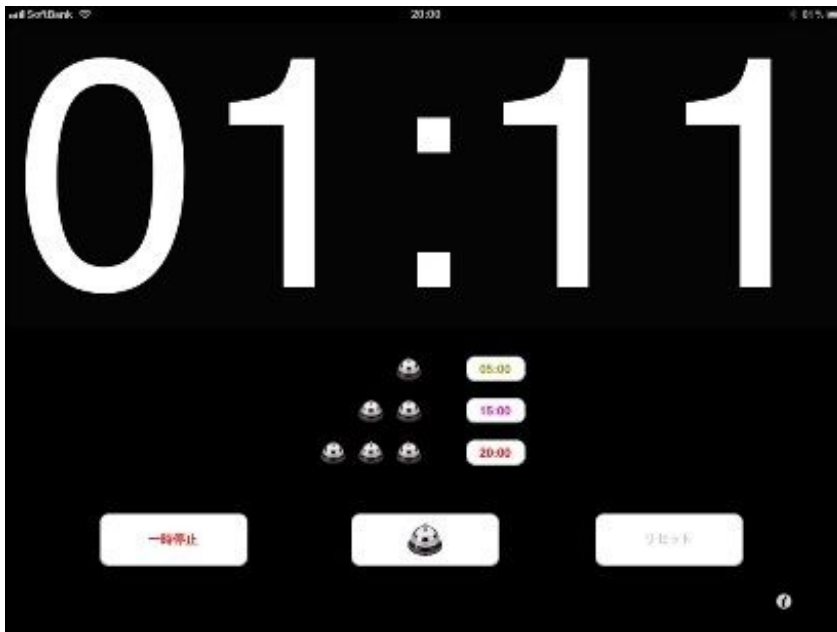


## タイマーで緊張感を出す

iPadとiPhoneは時計としても使うことができます。

時計やタイマーのアプリはたくさんあります。

ぼくがよく使うのは、プレゼンタイマーというアプリです。



このアプリは数字の表示が大きいので、iPadなら教室でそのまま使えるところが気に入っています。

英語の授業で、1から100までの数を数えさせました。

座席順に英語で、1から100までを一人ずつ数えてリレーをしました。チーム対抗戦ではありません。30人ほどの学級で2周、3週しながらカウントしていきます。

"one", "two", "three", . . . "one hundred"までの100の単語を言います。

こういうのはタイムを計りながら、2度3度とやることでタイムが縮まっていくので盛り上がります。

### 1回目

声が小さかったり言い方が分からなかったり、他の子の声がうるさかったりして3分以上かかりました。

### 2回目

誰からともなく「大きな声で」「他の人は静かに」と言いながら2分30秒くらい。

### 3回目

ぼくが「100までなんだから100秒、せめて2分は切れるんじゃない?」と言ったら1分50秒で言えました。

こうした適度の緊張感があると、英語も身に付きやすいのではと思いました。



[プレゼンタイマー](#)

[カテゴリ：ユーティリティ](#)

## フラッシュカードのようにめくる

---

歴史人物の画像を取り込んで、フラッシュカードのように使ってみました。

標準の写真アプリをそのまま使いました。

画像をピンチで拡大して画面いっぱいに広げ、ホームボタンとスリープボタンを同時に押してスクリーンショットを撮ります。



すると、カメラロールに自動的に保存されます。



これをめくりながら、子供達に名前を言わせていきました。

明るさを最大にすれば、サイズや見やすさは紙で作ったカードと変わりません。

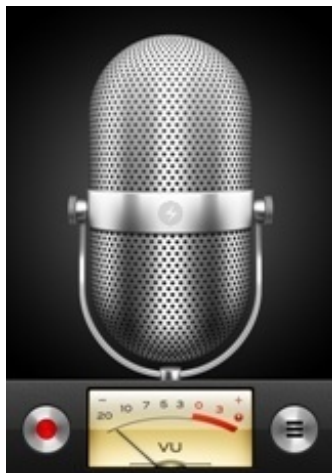
しかし、紙のように順番を並べ替えたり、二枚のカードを並べて見せたり、黒板に貼ったりといったことができないという欠点があります。

デジタルの弱点です。

## 合唱や伴奏を録音してCDに焼く

iPadやiPhoneは録音もすぐにできる機器です。

音楽発表会での学級合唱をする時、標準のボイスレコーダーに録音して聞きなおしたりすることができます。



合唱をしているとき、iPhoneを片手に持ち歩きながら録音をして、一人ひとりの声を確認することもできます。また、ピアノ伴奏を録音しておけば、スピーカーやテレビのある場所ならすぐに練習ができます。



録音した合唱や伴奏はをCDに焼くこともできます。

録音したiPhoneをパソコンに同期するときに、「ボイスメモを含める」にチェックを入れます。

概要 情報 App **ミュージック** ムービー テレビ番組 Podcast ブック 写真

### 音楽を同期

- ミュージックライブラリ全体
- 選択したプレイリスト、アーティスト、アルバム、およびジャンル
- ミュージックビデオを含める
- ボイスメモを含める

すると、「ボイスメモ」というプレイリストが作成されます。

このプレイリストをCDに焼けばできあがりです。

ぼくは自動車通勤をしていますが、車のアンプにiPhoneを接続して帰りの車内で子供達の合唱を聞くことがあります。

歌声の修正点を見つけて、次の指導に備えています。

## 体育館のアンプにiPadをつなぐ

運動会の表現運動の練習を体育館で行いました。

これまでは、曲をかけるのは体育館の放送室からでした。

音楽の担当者が放送室にこもって、指導者の指示で曲の途中でストップさせたり、途中から再生したりしていました

。

今年は体育館のアンプに、延長コードを介してiPadをつなぎました。

iPadはステージ上の演題の上に置き、ぼくがiPodで操作しながら指導をしました。

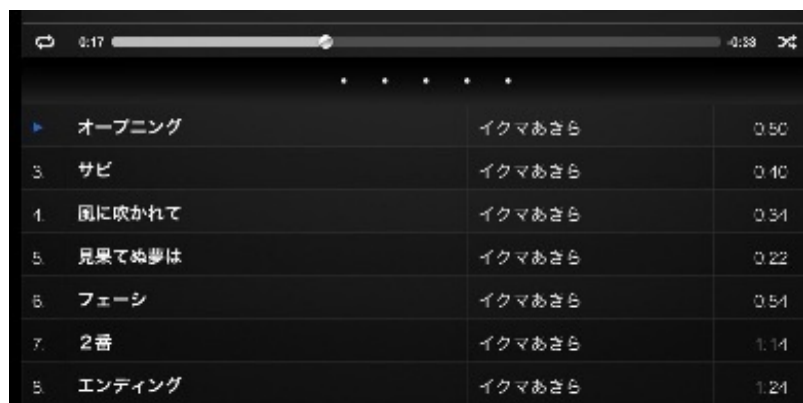
重点的に練習したいところも楽にリピートすることができます。

巻き戻しも早送りもリピートも、指先で操作できるので思いのままです。

CD/MDプレイヤーだと、こんなにスムーズにはいきませんでした。

曲名、トラック番号、再生時間などの情報もカラーの大画面でよくわかります。

操作が楽になった分、テンポよく指導ができました。



## iPadをICレコーダーとして使う

ぼくは放送委員会の担当をしています。

給食時間に、放送委員がインタビューしたものを流す番組を放送しています。

学級紹介や他の委員会からのお知らせ、職員の紹介などです。

その際、これまではICレコーダーを使用していましたが、最近ではiPadのvoice recorderというアプリを使っています

iPadはICレコーダーより大きくて持ちにくいですが、操作がシンプルなので子供にも使わせやすいです。



「1学期の思い出を振り返ろう」というテーマで多くの子にインタビューをして流すことになりました。

前日の昼休みに放送室へ子供達を集めてインタビューを録音しました。

「〇年〇組の〇〇です。1学期の思い出は〇〇です。」

このようなテンプレートを紙に書いて見せながらです。

放送はiPadのスピーカーから流れる音源をアナウンスマイクで拾わせました。

取材も放送も私はノータッチで、放送委員の子供達だけでできました。



[VoiceRecorder HD](#)

カテゴリ: ビジネス

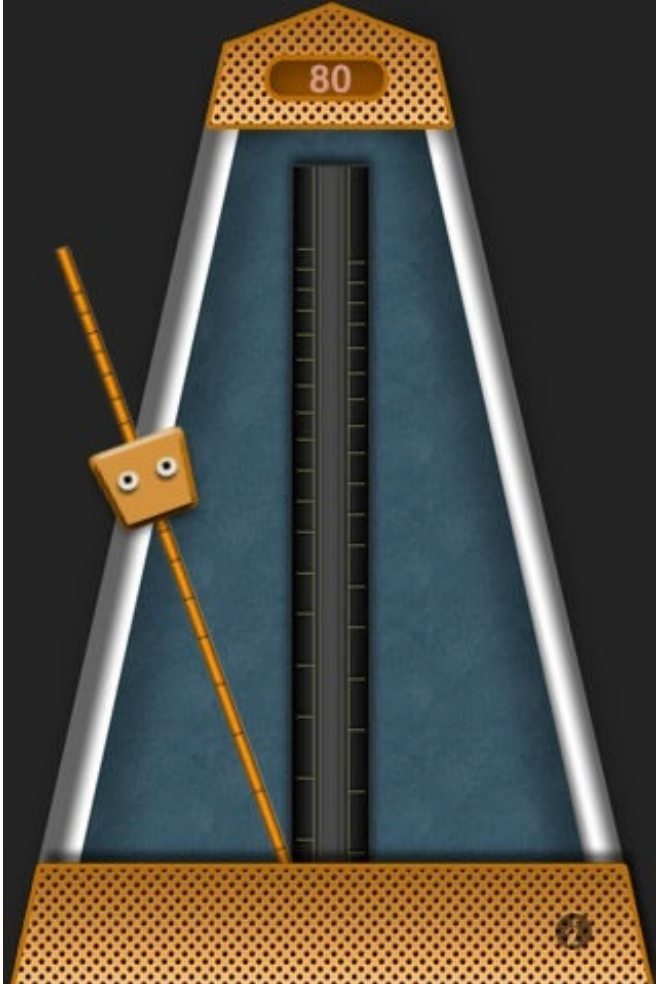
## メトロノームでリズムを刻む

---

運動会の表現運動を学年全体に指導しました。

動きが早くて複雑な振付でした。

動きの型を一通り教えたあと、メトロノームのアプリを使って、初めは60のテンポで踊りをさせました。



次第に80、100、120と上げていき、無理なく体に動きを覚えさせました。

原曲は120位の早さだったのですが、140までスピードを上げて踊り、最後に原曲をかけて振付と合わせました

。

実物のメトロノームと違うのは、スピーカーにつなげる点です。

ぼくのiPadは運動会シーズンに大活躍しました。



[Metronome HD](#)

[カテゴリ：ミュージック](#)



## 体育の授業を撮影して編集する

---

体育でバスケットボールの授業をしたときの様子をiPhoneで細切れに撮影し、得点場面や珍プレー・好プレーを編集して2分ほどの動画を作りました。

編集に使ったアプリは、iMovie(for iPad)です。

手順は次の通りでした。

### 1. 動画や写真を読み込む

iPhoneで撮った動画を、カメラコネクションキットを使ってiPad2に読み込みます。

### 2. iMovieを立ち上げる

映画館のような画面です。

「+」をタップして、新規プロジェクトを作ります。



### 3. タイムラインにビデオを挿入する

左上の枠に、iPad内に入っているビデオや写真が表示されます。

挿入したい場目のビデオをタップし、必要に応じて指先でトリミングします。



をタップすると、ポンと落ちこちるようにタイムラインへ挿入されます。



#### 4. クリップの設定をする

文字を挿入します。

挿入する位置と出し方は3種類です。

フォントを変えることはできません。



### 5. トランジションを設定する

メディアとメディアをつなぐトランジションの種類は2つしかありません。

「クロスディゾルブ」と「テーマ」です。

クロスディゾルブは、前後のメディアが重なるようにして切り替わります。

「テーマ」は、黒いラインが左右にサッと入ってから切り替わります。

もちろん、トランジションは「なし」でそのままつなぐこともできます。



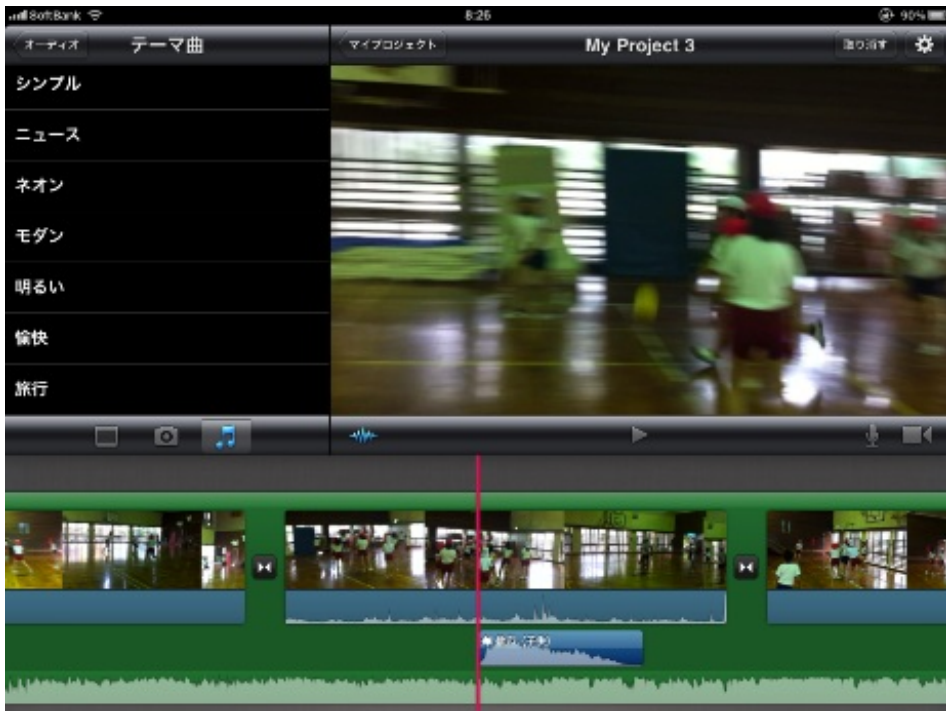
### 6. オーディオを挿入する

シュートが入った場面に「拍手」「歓声（子供）」などの効果音を入れました。





また、BGMとして、iMovieに入っているオリジナル曲（モダン）をつけました。  
iMovieに入っているオリジナル曲は8曲、効果音は50あります。  
それ以外に、iPodに入っている音源もちろん使えます。  
ただし、フェードイン・フェードアウトは今のところできません。



## 7. カメラロールに書き出す

書き出しサイズを選択して完成させます。

PCのソフトだと3分ほどの動画の書き出しに数十分かかることもありますが、iMovieは結構速いです。

再生時間と同じくらいでできました。



クリップのフォントが変えられなかったり、トランジションが少ないなどの不満はありますが、その分手軽に早く作ることができます。



[iMovie](#)

[カテゴリ：写真](#)

## 掃除を撮影して伝える

---

ぼくのクラスでは月に一度の割合で清掃当番を替えています。

清掃指導をするには、ぼくの場合どうしてもそれくらいの時間が必要です。

掃除の仕方に慣れた頃に、各清掃区域の掃除の様子を撮影して編集してみました。

撮影はiPhone 4、編集はiMovie(iPad)です。



清掃道具の種類や置き場所を示します。



清掃場所を示します。



担任の先生が見ているので、子供達も真剣に掃除します。

その様子を見て、新しい当番の子達もがんばろうという気持ちになります。



最後の片付けの仕方を示します。

BGMにテンポのいい曲を挿入して、楽しい感じに仕上げました。



## 調理実習を撮影して評価する

---

6年生の家庭科で朝食を作る単元があります。

料理は野菜炒めとスクランブルエッグです。



使う材料を一か所に集めてiPhoneで撮影します。

隣のクラスの担任に何がどれだけ必要だったかを伝えるためです。

4～5人ずつ8つのグループで実習を始めました。

各グループの調理台を回りながら指導していきます。

指導しながら、片手にiPhoneを持って撮影をします。



グループごとに短く撮影していきます。

撮りっぱなしだと、指導がしにくくなります。

また、細切れの動画の方が後で編集が楽になります。

撮影しながら、ぼくの声も入れていきます。

野菜の切り方、卵のとき方、グループの協力体制、味付け、火加減、その他気付いたことをほめたり教えたりしながら



ら撮影します。

後で動画を見返しながら、評価の資料にします。

料理が完成したら、グループごとにスナップを撮ります。

試食しているところも、感想を聞きながら録画します。

「おいしい」「おいしくない」などの声も評価の参考になります。

撮った動画は約20本で総時間は60分ほどの実習時間のうちの5分くらいでした。

スナップ写真が約20枚でした。



授業の後は、動画や写真をカメラ接続キットでiPadに取り込みます。

iMovieを立ち上げて、撮った動画を取りあえず全部ポンポンとつながぎます。

指先で文字通りポンポンとつながぐことができます。

つないだ動画を見返しながら、評価をつけていきます。



最後はスナップ写真やBGMもつけながら編集して数分ほどの「メモリアル動画」を作ります。

翌日に見せたら子供達も喜んでいました。

撮った動画や写真は授業参観でもそのまま見せることができます。

## クラブ活動を撮影して引き継ぐ

---

クラブ活動の時間でもiPhoneは活躍します。

ぼくは伝統芸能クラブの担当です。

伝統芸能は他の一般的な内容のクラブと違って、誰でも簡単に引き受けられるものではありません。

道具の扱い方や技などを次年度の担当に伝える必要があります。

ですから、iPhoneで活動の様子を録画していました。

クラブの最終回にはこれを編集したものをしながら活動を締めくくりました。

この映像は、次の担当者への引き継ぎの資料にもなります。

最後に全員で記念撮影をしました。

この写真は印刷してクラブの児童に配布しました。

## 修学旅行を撮影して思い出を残す

---

修学旅行にiPhoneを持って行きました。iPadも一応をかばんに詰めました。

これまではカメラ、携帯電話、旅行のしおり、筆記用具類などいろいろな物を持ち歩いていましたが、iPhone一つですべて事足りました。

日程や部屋割などはすべて画像として入れてありました。

気付いたことや反省事項はメモ帳アプリに入力していきました。

移動中は地図で現在地を確認したり目的地までの距離や時間を確認したりしました。

写真や動画もiPhoneで撮りためていきました。デジカメとさほど画質は変わりません。

iMovieを使えば、移動中のバスの中での編集も可能です。

キャンプファイヤーの時、1枚のCDが機器との相性が悪く再生できないことがありましたが、iPodで再生してスピーカーにマイクを当てて、事なきを得ました。

iPadの出番は寝る前に学級通信を書いた時だけでした。

## 座席表をテレビに映し出す

新学期から出席番号順に並んでいた学級の席替えをすることにしました。  
諸事情を考慮しながら配置を考え、iPadのNumbersで座席表を作りました。  
名前は漢字に変換すると倍以上の時間がかかるので、無変換のかなオンリーです。



いばた	あらき	いしかわ	まつもと	マートン	ひらの	さかもと	わきや
もりの	わだ	スレッジ	むらた	とりたに	あらい		ラミレス
ブランコ	グスマン	ハーバー	よしむら	ブラゼル	かねもと	おがさわら	かめい
ひらた	たにしげ	わたなべ	ほそやまだ	じょうじま	しゅんた	ライアル	かとう

Numbersは表計算ソフトですが、指先でひょいひょいとセルを移動させることができるので、座席表作りがスムーズにできます。

完成すると、こんな感じになります。

水泳の進級表を作成したときの様子をYouTubeにアップしてあります。

動画を見ていただければ、操作感がよくわかると思います。

[http://www.youtube.com/watch?v=Uvo8BKQszCI&feature=player\\_embedded](http://www.youtube.com/watch?v=Uvo8BKQszCI&feature=player_embedded)

これをiPad2のミラーリング機能をいかして、教室の地デジ対応テレビにつなぎます。

デジタルAVケーブルとHDMIケーブルがあれば、簡単につなぐことができます。

これまでは席替えの表を大きな紙に拡大したり、黒板にせっせと書いたりしていました。

席替えの表なんてその日その時のほんのわずかの時間にしか使いません。

テレビの画面にパッと映して席を移動させてさっと消せばいいのです。

ペーパーレス&チョークレスです。

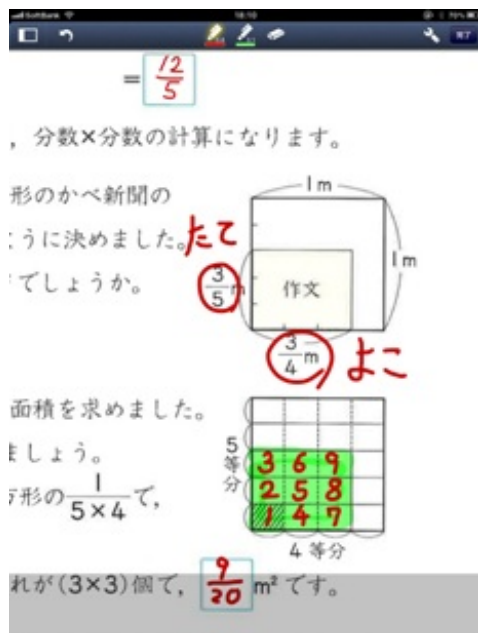


[Numbers](#)

[カテゴリ：仕事効率化](#)

## 教科書に書き込む

算数の授業では、iPadをテレビにつないで、授業している教科書のページを映し出すようにしています。それだけでも、今どの部分を授業しているのかが分かるのでいいです。



$= \frac{12}{5}$

、分数×分数の計算になります。

形のかへ新聞の  
うに決めました。たて  
てでしょうか。  $\frac{3}{5}$   $\frac{3}{4}$  よこ

面積を求めました。  
Eしよう。  
形の  $\frac{1}{5 \times 4}$  で、

5等分	3	6	9
	2	5	8
	1	4	7
4等分			

れが(3×3)個で、  $\frac{9}{20}$  m<sup>2</sup>です。

ぼくは教科書の授業で使うページをPDFファイルにして取り込み、必要に応じてタッチペンで書き込みながら授業を進めています。

よく使うのは、ノートPADというアプリです。

タッチペンでiPadに書き込む様子をYouTubeにアップしてありますので、そちらをご覧くださいればその操作感が分かると思います。

<http://www.youtube.com/watch?v=nsOScP88Jd8&feature=feedwl&list=WL>

算数の教科書では書き込ませたり色を塗らせたりするところがあります。そんな場面で有効です。



[ノートPAD](#)

[カテゴリ：仕事効率化](#)

## グーグルアースを操作する

---

グーグルアースは発表以来、多くの実践が全国の教室で行われています。

その多くは、ノートパソコンとマウスを使ったものです。

初代iPadでも専用アプリが出ていましたが、残念なことにテレビやプロジェクタで表示することができませんでした。

その点がiPad 2では改良され、どのアプリでもデジタルAVケーブルとHDMIケーブルを使えば表示できるようになりました。

グーグルアースを立ったままで操作する様子をYoutubeにアップしました。

<http://www.youtube.com/watch?v=RvPOSGYDAZk&feature=feedwll&list=WL>

大山古墳（仁徳天皇陵）を映し出してみました。

大きな建造物なので、立体の質感も画面から感じられます。

3G回線ですが、動作は気になるほど重くはありませんでした。

iPad版グーグルアースの主な操作方法は次の通りです。

### 移動

1本の指で画面に触れ、目的の場所を表示するように指先をドラッグします。

また、指で画面を軽く払うように操作（フリック）すると、素早く移動できます。

### ズームイン

2本の指で同時に画面に触れて、指先を開きます。

または、1本の指で画面をダブルタップします。

### ズームアウト

2本の指で同時に画面に触れて、つまむようにして指先を閉じます（ピンチ）。

または、2本の指で同時に画面をダブルタップします。

### 回転

2本の指で画面に触れ、目的の場所を表示するように指先を回転させます。

### 見回す

2本の指をそろえて同時に画面に触れ、指先を任意の方向へ動かします。

### 傾斜

2本の指をそろえて同時に画面に触れ、指先を下方向へ動かします。

これが慣れるのに少し難しいです。

iPadが他の機器よりもよい点は、立ったままで操作できることや、機器やマウスなどの置き場所がいないことでしょう。

起動もワンタッチで、文字入力も予測変換ですぐに打ち込めます。

終了はスマートカバーをしめるだけで、必要なら再起動もすぐにできます。

また、iPad版のグーグルアースは機能がパソコン版に比べてシンプルで操作しやすいです。



[Google Earth](#)

[カテゴリ：旅行](#)

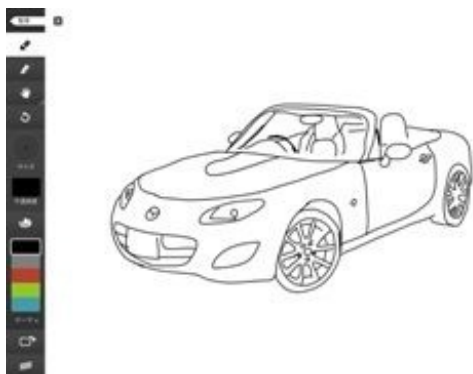
## 画像をトレースして絵を描く

---

iPadにタッチペンで絵を描いていたら、クラスの子からアニメのキャラクターを描いてみてほしいと言われました。それで、Adobe Ideasというアプリを使ってトレースして描きました。

このアプリは元の画像にレイヤーをつけてなぞることができます。

ネットで適当な画像をコピーして、その上のレイヤーをタッチペンでなぞります。



その後、元の画像を非表示にしてアルバムに送ればできあがりです。

これまではパソコンにペンタブレットをつないで、学芸会の背景や小道具を描いていました。

iPadだとどこにいても手軽にトレースして描けるのでいいですね。



[Adobe Ideas](#)

[カテゴリ：エンターテインメント](#)

## iPhoneを実物投影機にする

ある授業で外部講師の依頼をしたところ、実物投影機を使いたいと言われました。

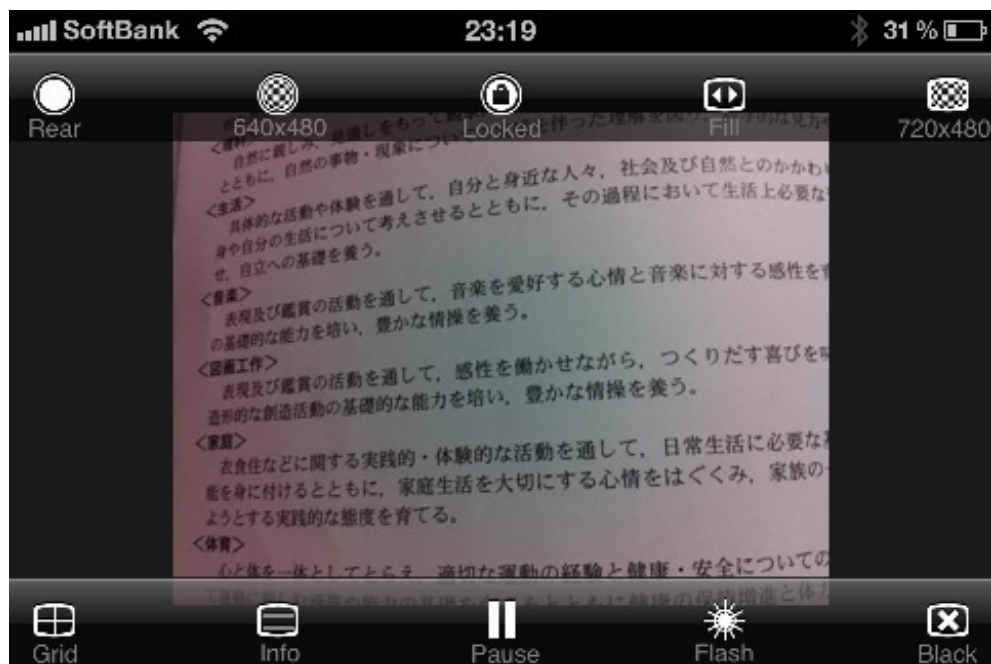
そこで、アームスタンドにiPhoneを貼り付けて代用しました。アームスタンドの電球とかさの部分を外し、iPhoneをガムテープで固定しただけのものです。アームスタンドは1800円くらいで購入しました。



iPhoneにはiPadのようなミラーリング機能がありません。

そこで、Camera Visionというアプリを使用しました。

デジタルAVケーブル、VGAアダプタ、コンポジットケーブルなどでテレビやプロジェクタとつないで映し出すことができます。



テレビの画面を消したいときはブラックモードにすればOKです。

アルバムへの切り替えもできます。あらかじめアルバムやカメラロールに保存しておいた画像も映し出せます。



[Camera Vision](#)

カテゴリ: 写真



## 音声で検索する

---

授業中、子供に教科の内容のことを質問されて答えられなかったり記憶があいまいだった時は、iPhoneかiPadを取り出してグーグルの音声検索で調べるようにしています。

音声検索のよさは、空白の時間が授業中に生じないことです。

授業中に手打ちで文字入力をしたり、辞書などを取り出してめくっていたりすると、その間に教室の空気が緩みます。

iPhoneで電話をかけるように声を出して検索することで、間のびする時間が短くなります。

授業の内容だけでなく、子供の趣味や関心事を知る上でも検索は必要です。

iPhoneを持つ以前ならば、「どうせこんなこと話しても先生は知らないだろう」と話しかけてこなかったし、ぼくもあえて調べるようなことは少なかったです。

iPhoneとiPadを教室に持ち込むようになって、子供達が日常会話や日記の中で自分の関心事を伝えてくる子が多くなりました。

音声入力はできませんが、会議や研修の中でも検索機能は活躍しています。

先行実践や他校の取り組みも会議の席上で確認することができますし、自分の不勉強な点も研修中に調べて補うことができます。



## 校外学習で位置を確認する

家庭訪問のとき、iPadを車の助手席に置き、標準の地図アプリをナビ代わりとして利用しました。住所を打ち込むとピンが落ちてきて目的地を示すのでわかりやすいです。

以前は大きな地図を何枚かに分けてコピーして持ち歩いていました。

時間も手間もかからなくなりました。

校外学習で目的地に向かう時の経路や所要時間の確認にも地図アプリを利用しています。

紙の地図と違う点は、iPhoneやiPadを水平に持って方位キーをタップすると、進行方向と同じ向きに切り替わるところです。

初めて行く場所でも迷うことはありません。



## 図画の参考資料を集める

---

図工の時間に木版画の下書きをさせました。

人物の顔の表情や手足、ポーズなどは自分を見たり友達にポーズを作ってもらったりして描くことができます。

あるいは、事前に描きたいものの写真や参考資料を集めさせておく場合もあります。

しかし、手元がないものを追加して描きたいということがあります。

この日の授業では、「ウサギ」「ラブラドルレトリバー」「三味線」「バレーボール」などを描きたいと言った子供達いました。

動物の毛並みや道具の正確な形や模様などは、よほど好きでない限り、モデルなしでは描けません。これは大人も同じです。

図書室やパソコン室で調べさせることもできますが、そうすると絵を描く時間が割かれてしまいます。

そこで登場するのがiPadです。

グーグルの画像検索で探して見せてあげました。

提示するまでの操作時間は十数秒です。



## YouTubeを見せる

---

言わずと知れた、世界中の動画が集まるYouTube。

多くの教師が授業で利用しているサイトだと思います。

iPadとiPhoneにはYoutubeを視聴するアプリが標準でついてきます。

授業の中で、参考になる動画を見せたいと思ったときに活躍しています。

地震や津波などの気象映像や手話スピーチ、犬型ロボットなど、実際に動く様子を見ないとイメージできないものをこれまでに見せてきました。

授業の直前に一度再生しておく、授業中でも途切れずに最後まで再生することができます。 思いついてからiPadを立ち上げ、検索をし、映しだすまでに20秒ほどしかかかりません。

授業の前に準備をしていれば、カバーを開けてケーブルを差すだけなので数秒で見せられます。

後片付けもケーブルを抜いてカバーを閉じるだけ。

この手軽さが、iPadと他の機械との違いです。

3G回線だとYouTubeの画質は落ちるようになっているのですが、HDのコンテンツだと、結構きれいに見られます。



## 天気予報を示す

---

台風接近が予想された日のことでした。

清掃時間に、屋外にある植木鉢や清掃用具などを風で飛ばされないように移動させたり、窓のレールに新聞紙を入れたりして雨水の侵入を防ぐなどの対策をしました。

台風の今後の進路次第では、休校の可能性もあります。

ネットの台風の進路予想図をテレビに映し出して、最接近の予想日時等を説明しました。



川の増水の恐れや強風からくるさまざまな危険を挙げて、週末は気をつけるように話して下校させました。

こんな時は、最新の天気図を示しながら説明するのがわかりやすいです。

## "Pray for Japan"を感じる

---

卒業式が近づいた3月11日金曜日、未曾有の大震災が日本を襲いました。

日本中の多くの教師がそうであったように、ぼくも週末は自分が教室でできることについて考えていました。

3月14日月曜日、臨時の全校朝会が行われました。

震災で亡くなられた方へ全児童で黙祷を捧げました。

教室に戻ると、ぼくは子供達に話をしました。

「地震や津波の様子をテレビで見た人？」

全員が手を挙げました。

「怖いと思った人？」

3分の1が手を挙げました。半数以上の子にとっては、まだ遠い場所での出来事のことなのか、それとも怖いものを避けたいという防衛本能なのかわかりません。

「怖かったよね。先生も怖かった。」

そして、自衛隊や警察、消防、外国の救助隊がしっかり頑張っていること、政治家や科学者、技術者が知恵を振り絞っていること、日本中の大人すべてが自分の立場でできることを努力していること、ぼく自身も現地に行って何かしたいと思っていることなどを話しました。

それから、今ぼくらが直接できることは少ないけれど、しっかり勉強し、体を鍛え、大人になったときに貢献できるように努力しようということを伝えました。

また、日本はこれまでの地震や津波の経験から、外国で同様の災害が起こったときには積極的に支援をしてきたこと、これまでの努力に報いようと外国が日本のことを心配し応援していることを話し、"pray for Japan"をテーマに多くの画像がネット上で紹介されていることと言ってiPadで世界中の"pray for Japan"を一枚ずつ見せていきました。

大人たちの戸惑いに不安を感じていた子供達の表情が柔らかくなり、重かった教室の空気が軽く、そして温かくなったのを感じました。

PRAY  
FOR  
JAPAN

## カラオケで盛り上がる

昼休みの教室でのことでした。

職場体験に行く子達が老人ホームで、ドラマ「マルモのおきて」の主題歌のダンスをするという話を聞きました。

「マル・マル・モリ・モリ！」という曲です。

iPhoneアプリの「カラオケJOY SOUND」で調べてみたら堂々の第1位。



iPhoneのアプリはiPadでも拡大して利用することができます。

iPad 2 からテレビにつないでミラーリングしてみました。

音楽を聞きつけた子達がどんどん集まってきました。

踊り始める子もちらほら。

特にサビの「マルマルモリモリ みんな食べるよ」のところはほとんどの子が踊っていました。



3回リピートしたので、さすがにぼくも少し覚ええました。

修学旅行のバスレクでもこのアプリは使えるんじゃないかと思いました。



[カラオケJOY SOUND](#)

[カテゴリ：ミュージック](#)



## みんなでパズルを解く

---

天気のいい昼休み、外で遊ばないおとなしい子達が数名教室にいました。  
iPadでぼくが絵を描いたりするのを見せた後、Slice It!というアプリをさせてみました。

図形を指定された数の直線で指定された個数に分割します。  
「正方形を2本の直線で4分割しなさい」みたいな感じです。

参考動画：[http://www.youtube.com/watch?v=CryH-Plwito&feature=player\\_embedded](http://www.youtube.com/watch?v=CryH-Plwito&feature=player_embedded)

知的なパズルは男女関係なくアイデアを出しながら盛り上がります。  
昼休みが終わって運動場から戻ってきた子達も集まり始めました。  
iPadを囲む輪が二重、三重になったのでテレビにも接続しました。  
全員を席に着かせて、わかった子が前に出て解くという流れにしました。  
紙に書いて解き始める子もいました。

分割した図形の面積の大きさが近いほど、星の数が増えます。  
5つ星が出ると、拍手が起こりました。



鉛筆でもマウスでもないこの操作感が特徴です。



[Slice It!](#)

[カテゴリ：ゲーム](#)

## iPadで読み聞かせをする

---

iPadは小さめの絵本くらいのサイズなので、読み聞かせをするのにも向いている機器です。

子供達を集めて読み聞かせをすることも可能です。

今までにぼくが実際に読み聞かせをした作品やアプリを紹介します。



### 1. サーカスが燃えた

音楽や絵の動き方、画面の切り替わり方など、完成度の高い絵本アプリです。

しかしながらストーリーは大人向けで、子供にはピンときていない様子でした。

それでも、多くの子たちはiPadの物珍しさも手伝って、よく聞いてくれました。

エンドロールが流れる間、「最後におんぶされたのはいつでしたか？」と尋ね、ぼく子供のころのおんぶの思い出を話して終わりました。



### 2. クマとスカーフ

このアプリはさまざまな仕掛けがあるので、子供達にiPadをタッチさせながら読んでいくといいと思います。



### 3. 夜のともだち

登場人物が少なく、文章やストーリーもわかりやすい物語なので集中して聞いてくれます。

ですが、結末に関しては賛否両論あるかもしれません。

「終わり？」「続きは？」という子供の声がありました。

子供の中ではエンディングがスッキリしなかったのかもしれません。



### 4. ドーム65歳

光村図書の6年生の教科書にある「平和のとりでを築く」の内容に即したアプリです。

カラーで鮮明な原爆ドームの画像や動画が収められています。

アプリの存在自体が、この単元の目標である「自分と対話し、考えたことを発信しよう」を具現化していると思います。



### 5. おとうさんの 아이폰

本の出版サイト「ブックログ」に収められている絵本です。

このおとうさんがiPhoneで何をしているのか想像してしまいます。

顧客管理でしょうか。TwitterやFacebookへの投稿でしょうか。

iPadの特徴をいかした絵本アプリの今後の発展を期待しています。

## おわりに

---

誰でも志があれば電子書籍を発刊できる時代になりました。

素晴らしいことだと思います。

実践をするにあたり、次の2冊が大変参考になりました。

[iPad Perfect Manual](#)

[iPadバカ](#)

引き続き、iPadとiPhoneを使った実践をブログやTwitterで発信していきたいと思っています。

興味のある方はのぞいてみてください。

# iPadとiPhoneで教師の仕事をつくる

## Ver. 1.0.1

<http://p.booklog.jp/book/27790>

2011年7月9日 Ver. 1.0.0

2011年8月6日 Ver.1.0.1

著者 : canpycanpy

ブログ:iPad2とiPhone4で教師の仕事をつくる

<http://blog.livedoor.jp/canpycanpy/>

Twitter:@canpycanpy

<http://twitter.com/#!/canpycanpy>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/27790>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社paperboy&co.